

教師力向上旬間も前半戦を折り返すところまでやってきました。この時期はどうしても忙しいため、なかなか見に行くことができない先生も多いかもしれません。しかし、この時期だからこそ見るができる指導も多くあると思います。忙しいとは思いますが、色々な教室を覗きに行ってみましょう。

今からは、今週私がいろいろな教室で学ばせていただいたことを紹介します。

一つ目は、教室の掲示についてです。6年生の教室では、窓際に、学んだ学習用語が短冊になって掲示されていました。常に視覚化されていることで、子どもたちは意識的に学習用語を使って話をしたり、考えをまとめるときに、その言葉を使ってまとめることができたりするようになるなあと思いました。ぜひ、私の教室でもやってみたいと思いました。一度、見に行ってみてください。



二つ目は、他者を意識させる声かけについてです。2年生の教室に入ったとき、道徳の授業をしていました。クラスの端に座っている子が、みんなに自分の想いを話そうとしている場面だったのですが、その子の声がなかなか小さくて聞こえませんでした。私も、その子が何を言っているのか全く分かりませんでした。そんな場面みなさんもよくありませんか？私はそんなとき、つい「聞こえない。」とか「もう少し大きな声で言いな」とか言ってしまいます。しかし、林先生は、その子に「みんなに伝えよ。」と一言声をかけました。すると、その子は、みんなに伝えるために、自分で立って、また話し始めました。その姿が私の中で、とても心に残りました。声の大きさについて指導することも必要だと思います。しかし、林先生の「みんなに伝えよ。」の一言で、その子が他者を意識して、どのようにしたら、みんなに自分の想いが伝わるか考え行動した、あの場面は、私にとってはとても素敵な場面でした。

三つ目は、さまざまな教室で見られる子どもの距離間の近さについてです。さまざまな学級で子どもたちを見ているのですが、多くの子どもたちの距離感の近いこと。この姿から、子どもたちは安心して学べる空間にすることができ、そんな素敵な空間で学び続けることができていると分かります。私もみなさんのような、安心して学べる空間を、教室につくっていきたいと思いました。

私も、忙しくてあまり見に行けていませんが、そんな私が、ちらっといろんな教室を覗きに行かせていただいただけでも、たくさんの学びがありました。ぜひ、



みなさんも、見に行ってください。そして、見させてもらった際には、感想用紙を渡すことで、感謝の気持ちを伝えましょう。(私はまだ一枚ももらっていません…誰か僕に伝えてくれないかな。笑)

GWまであと少し！！みんなで乗り切りましょう♪♪